

# 菊スカウト面接・認証申請書

No.K-1

日本ボーイスカウト 茨城県連盟  
 地区 第 回 隊長  
 年 月 日  
 自署印

都道府県連盟受付  
 年 月 日  
 No.

下記スカウトは、隊長の責任において、菊スカウトの段階に達したものと認め、面接による認証を申請します。

フリガナ氏名 年 月 日 生 (満 歳)  
 登録番号  
 所属 [第 地区] 第 回 ボーイスカウト隊 班 (役務)  
 住所 〒 Tel  
 印を捺した日: 年 月 日 場所:

1. 進歩の記録・活動参加記録

BVS	入 隊	年 月 日	参加状況	BS (隊・班)	参加状況	キャンプ参加	回
入 隊	年 月 日	完修	隊活動参加率: 日/日 参加 %	隊活動参加率: 日/日 参加 %	キャンプ参加	回	
うさぎ	年 月 日	完修					
しおか	年 月 日	完修					
月の輪	年 月 日	完修					
入 隊	年 月 日	完修					
初 級	年 月 日	進級					
2 級	年 月 日	進級					
1 級	年 月 日	進級					
信仰奨励章	年 月 日	取得					
宗教章	年 月 日	取得					
C 次 長	年 月 日	取得					
S 組 長	年 月 日	取得					
デンコチ	年 月 日	取得					
次 長	年 月 日	取得					
B 班 長	年 月 日	取得					
S 上級班長	年 月 日	取得					
隊 付	年 月 日	取得					

2. 学校

生徒会・学級活動	学校 第 学年	趣味・特技
運動クラブ・部活動		
本欄に対する保護者のコメント 自署 保護者 氏名 自署		

- ◆菊スカウト面接・認証申請書の書き方のポイント
- ※日付けはすべて「西暦」とします (×平成25年 → 2013年)
- ① 団委員長名での申請
    - 申請者は、隊長ではなく団委員長。団委員長名で地区へ申請する。直筆署名と捺印が必要。
    - ただし、この申請書を書く責任者は「隊長」だ。赤色の罫線は隊長が責任を持って書く。
    - また、また緑色の罫線の箇所は、スカウト本人が隊長の指導の下で記入する。一方青色の罫線の箇所「本人に対するコメント」は保護者が記入し署名する。
    - 進級はスカウトにとつてはたいへん重要なものである。そのため申請書だから、PC(ワープロ)ではなく楷書でちゃんと丁寧に記入することが大切。
    - 記入ミスについては、修正テープを使用するか、見え消しの場合は訂正印を押す等、常識ある対処をすること。
    - どう書かれていくかによって、面接委員の心象は大きく左右され、それがそのままスカウト・保護者に伝わる。細心の注意が必要だ。
  - ② 本人の個人情報
    - 漏れや間違いないように、ひとつひとつ確認しながら記入する。
    - 年齢は、申請日(地区に申請した日)における満年齢を記入する。
  - ③ ちかいをたてた日
    - スカウトが「ちかい」をたてるのは一生に1回きりである。その記念すべき日時・場所を決して忘れることがないようにしておく。
    - 指導者研修の際にも申込書等に「ちかいをたてた日」記入するが、それはこの最初「ちかいをたてた日」となる。コミッションの中には「指導者としてちかいをたてた」などという者も居るが、それは大きな間違い。「ちかい」は再認することはあっても、二度と「ちかい」をたてることはない。この運動に参加する「ちかい」、そんな軽々しいものではない。
  - ④ 上進章
    - 上進章集會に参加できるのは、小学校5年生になってから。また、原則として「くま」の課程を完了した後に参加することが望ましい。
  - ⑤ デンコチ
    - デンコチは、初級以上のボーイスカウトが就任できる。
  - ⑥ 活動参加日と参加率
    - ボーイ隊に上進した日から、菊章課目が完修した日までのものをカウントする。
    - これについては、様式2-3-1「ボーイスカウト個人記録簿」の出席記録を活用してもらいたい。
  - ⑦ キャンプ参加
    - 参加日数ではなく、泊数。隊キャンプ+班キャンプの泊数を記入する。
  - ⑧ ハイキング参加回数
    - 班ハイキングと隊ハイキングそれぞれについて、回数を記入。
- ※その他  
 他の項目についても、記録に従ってきちんと記入。(記入例)  
 大会参加 「第〇回茨城県キャンポリー」 2012年8月9日～2012年8月13日  
 訓練参加 「第1回GBのつどい」 2013年11月3日～2013年11月4日  
 表彰 「日日の善行表彰」 2013年5月19日～ 年 月 日  
 海外派遣 「第8回県連国際派遣(韓国)」 2012年8月19日～2012年8月23日

3. 進級課目の履修

項目	課目	認定年月日
1. スカウト精神	② 「ちかい」と「おきて」の実践に努力して、他のスカウトの模範となる。	9
	④ 小遣いの金銭出納を3ヶ月記録し自己管理する。	
2. 健康と発達	④ 選択課目の「スカウト精神」の活動からターゲッ トバッジを1つ修得する。	10/25名
	⑦ 選択課目の「健康と発達」の活動からターゲッ トバッジを1つ修得する。	10/25名
3. スカウト技能	⑦ 選択課目の「スカウト技能・ハイキング」の活動か らターゲットバッジを1つ修得する	10/25名
	④ 選択課目の「スカウト技能・道徳」の活動からター ゲットバッジを1つ修得する	10/25名
	⑤ 選択課目の「スカウト技能・キャンプ」の活動 からターゲットバッジを1つ修得する	10/25名
	④ 選択課目の「スカウト技能・冒険」の活動からター ゲットバッジを1つ修得する	10/25名
	⑦ 選択課目の「社会生活」の活動からターゲッ トバッジを1つ修得する	10/25名
5. マスターバッジ	マスターバッジを3つ修得する	
6. 班長会議	1級スカウトとして、最低3か月、隊や班の発動に連れて参加したことを 班長会議で認めてもらう	

班長会議のコメント

12 自書 自署 (上級班長)

記入者氏名

氏名 自署

4. 面接

14

日時 年月日 ( ) 午前・午後 時 分 ~ 午前・午後 時 分

場所

氏名 氏名 氏名 氏名 氏名 氏名 氏名 氏名 氏名 氏名

職務 職務 職務 職務 職務 職務 職務 職務 職務 職務

面接委員

表記のスカウトを面接し、進級課目達成を認証しましたので報告します。

年月日

面接認証者 (役務)

署名捺印 印

5. 1級章進歩章の交付と記章の授与

15

申請書受付 認証番号

進歩章・記章

受付日 進歩委員長 進歩章交付日 記章交付日

9 「他のスカウトの模範」

菊スカウトを目指すということは、単に「ちかい」と「おきて」の実践の努力をするのではなく、ごく当たり前にそれを実行でき、結果、他の模範となっていること(を目指して日々努力していること)が求められる。この点については、厳しくも暖かく見てあげてもらいたい(「甘く」ではない)。

スカウトが身に付けているべき「ちかい」と「おきて」の精神が獲得できるかは、指導者のこの厳しくも暖かくい指導に掛かっている。

10 ターゲットバッジ

この項目にあるターゲットバッジは、1級章を取得後に新規に修得したものに限る。2級章・1級章取得のときのものは含めることはできない。

それは、マスターバッジも同様で、1級章の取得後に新規に修得したものに限る。

11 技能章

2級以上のスカウトは技能章を取得することができる。しかしながら、この年代には、技能章のように1つの技能を深めることも大切だが、それ以上にこの年代に獲得しておくべき知識や技能の幅を広げることの方が大切であり、指導者としてはそれを重視して指導することが求められている。ただし、部活動やその他習い事等で専門技能を身に付けている場合は、もちろんその技能章に挑戦してもかまわない。そうでない場合は、できるだけ多くのターゲットバッジ・マスターバッジの修得を優先するよう指導してもらいたい。

12 班長会議のコメント

ここには、できる限り当該班の班長(本人が班長の場合は上級班長)のコメントを記入してもらいたい。コメントの内容は「6.班長会議」の項目の延長として、それまでのスカウトとしての成果を評価し、菊スカウトへの推薦に値する、心から推薦する旨が書かれていることが大切だ。

記入者氏名欄には、記入者の氏名の後にカッコ書きで役務を記入するのも忘れずに。

13 隊長の評価

菊章の審査は隊長の責任で行うものだ。ということは隊長は自信を持って面接に送り出さなければならぬはずだ。スカウトの努力と成長から、自信をもって評価する旨を記載する。

14 4. 面接の欄

- 認証面接者を実施した日時と場所、そして面接委員をそれぞれ記入する。
- 面接認証者は面接委員長です。日付けと署名捺印する。

15 5. 菊章進歩章の交付と記章の授与の欄

- 地区プログラム委員長等(地区進歩委員長または地区プログラム委員長)は、面接・認証申請書を正式に受け取ったら(正式に受け取るということは、事前のコミッションオーナー等チェックで内容等に「問題なし」と確認され、団委員長の捺印がされたものを受け取ったとき、「申請書・受付(地区)」欄の「受付日」に年月日を記入する。(例「2013・5・17」)
  - 面接・認証が済むたら、地区プログラム委員長等(地区進歩委員長または地区プログラム委員長)は、「進歩委員長等」の欄に直筆サインを捺印する。
  - 続いて「県連提出日」に県連事務局への提出日を記入して、県連事務局に提出する。
- この提出日は、前ページの右上「都道府県連盟受付」日と一致していることが基本だ。(郵送等の場合には多少ずれることがある。)

○ : 隊長が記入    ○ : スカウト本人が記入    ○ : 保護者が記入

○ターゲットバッジの取得記録

右の取得チェック表により、取得した「章」と日付をチェックする。菊章の場合は、左側の「進歩状況一覧表」の次に、右欄の「取得チェック表」を添付書類として綴ること。

No.K-3

第 団 氏名 \_\_\_\_\_

### 進歩状況一覧表

※各欄に、認定の日付を記入してください。

区分	No.	項目	ターゲット	マスター	区分	No.	項目	ターゲット	マスター
A 群 スカウト精神	A1	メンバーシップ			D 群 スカウト技能	D4	森林		
	A2	家庭				D5	野生生物		
	A3	地域社会				D6	気象観測		
	A4	公民			E 群 スカウト技能	D7	天体宇宙		
	A5	郷土文化				E1	キャンプ企画	ターゲット	マスター
	A6	世界友情				E2	野外料理		
	A7	地球市民			E3	キャンプクラフト			
	A8	B-P			E4	燃料			
	A9	リーダーシップ			E5	ロープ結び			
B 群 健康と発達	B1	健康			E6	たき火			
	B2	安全			E7	キャンプマネジメント			
	B3	水泳			F 群 スカウト技能	F1	食料		
	B4	運動能力				F2	キャンプファイア		
	B5	救護				F3	サバイバル		
	B6	クラブ活動				F4	フィッシング		
	B7	外国語				F5	ハイオニアリング		
B8	情報処理			F6		ウオーターアドベンチャー			
B9	マネジメント			F7		スカウトソング			
C 群 スカウト技能	C1	ハイキング企画	ターゲット	マスター	G 群 社会生活	G1	自然観察		
	C2	読図				G2	テコンチ		
	C3	記録				G3	近隣奉仕		
	C4	写真				G4	環境保護		
	C5	自転車				G5	伝統工芸		
	C6	オリエンテーリング				G6	防災		
D 群 スカウト技能	D1	観察	ターゲット	マスター	G7	リサイクル			
	D2	計測			G8	ガイド			
	D3	通信							

### 進歩状況一覧表

分類	番号	バッジ名	2級取得日	1級取得日	2級取得日	1級取得日
スカウト精神	01	リーダーシップ	H21.08.22	H21.08.22	H21.08.22	H21.08.22
	02	メンバーシップ				
	03	家庭				
	04	地域社会				
	05	公民				
	06	郷土文化				
	07	世界友情				
	08	地球市民				
	09	B-P				
	10	リーダーシップ				
健康と発達	01	健康	H21.08.22	H21.08.22	H21.08.22	H21.08.22
	02	安全				
	03	水泳				
	04	運動能力				
	05	救護				
	06	クラブ活動				
	07	外国語				
スカウト技能	01	ハイキング企画	H21.08.22	H21.08.22	H21.08.22	H21.08.22
	02	読図				
	03	記録				
	04	写真				
	05	自転車				
	06	オリエンテーリング				
	07	観察				
社会生活	01	自然観察				
	02	テコンチ				
	03	近隣奉仕				
	04	環境保護				
	05	伝統工芸				
	06	防災				
	07	リサイクル				
ガイド	01	ガイド				
	02					
	03					
	04					
	05					
	06					
	07					

この表の枠の中に記入できる日付は、2級バッジ取得日と1級取得日です。よく確認してください。他の色も同じです。

菊章の場合は、日付を( )で囲んで、黒字で記入し、その日付は1つめと7つめの日付となる。

1級バッジでこの表のターゲットバッジをすべて取得してしまつたので、黒字で必要なバッジが取得できなくなつてしまつた。つまり黒字にはならなかつた。つまり1級取得の日付を!!

この日付は、1級バッジ取得の日付、記入する。

このターゲットバッジの記入欄には、黒字でターゲットバッジを記入してください。日付はターゲットバッジ取得日と1級取得日とを記入してください。また、各章で認定されている日付だけで認定です。



3. 進級課目の修得

項目	課題	認定年月日							
基本	⑦ ベンチャー章を取得してから、最低6か月月間「 <b>「ちかい」と「おきて」の実践に最善をつくす。</b>								
スカウト技能	⑦ 2人以上のベンチャー隊のスカウトとともに、安全と衛生及び環境に配慮した2泊3日以上以上の探検旅行を計画し、隊長の承認を得て実施して報告する。 ⑧ 筏、軽架橋、信号塔など大型の構築物1つを作成する。 ⑨ 次のスカウト技能のいずれかかをボーイスカウト隊で指導する。 (ア) 計測 (イ) 通信 (ウ) ロープ結び								
スカウト精神	⑦ 他部門の活動へ6か月以上にわたり奉仕するか、地区、県連盟、日本連盟の行事などに奉仕し、その実績を報告する。								
信仰	⑦ 信仰奨励章を取得する。								
技能章	⑦ 炊事章、野営章、救急章を取得する。								
	<table border="1"> <tr> <td>炊事章</td> <td>野営章</td> <td>救急章</td> <td>章</td> </tr> <tr> <td>考慮員:</td> <td>考慮員:</td> <td>考慮員:</td> <td>考慮員:</td> </tr> </table>	炊事章	野営章	救急章	章	考慮員:	考慮員:	考慮員:	考慮員:
炊事章	野営章	救急章	章						
考慮員:	考慮員:	考慮員:	考慮員:						
成長と貢献	⑦ ベンチャープロジェクトを実施し、プロジェクトバッジ1個以上を取得する。								

実施したプロジェクト	プロジェクト名	プロジェクト概要	指導を受けた人
⑪			認定
			認定
			認定

隊長の評価

12 自書

氏名 自署

4. 面接

日時	平成 年 月 日 ( ) : ~ ( ) :	場所	
氏名	氏名	氏名	役職
氏名	氏名	氏名	役職
氏名	氏名	氏名	役職

表記のスカウトを面接し、進級課目達成を承認しましたので報告します。  
年 月 日  
面接認証者 署名捺印  
(役務)

5. 単章進歩章の交付と記章の授与

申請書受付・提出(地区)	申請書受付(都道府県連盟)	認証番号	進歩章・記章
交付日 進歩委員長 進歩副委員長	事務局長 コミッショナー 進歩委員長		進歩章交付日 記章交付日

9 「ちかいとおきての実践」

最低6ヶ月「最善を尽くす」実行について、時系列に表にまとめるとともに、自己評価をして報告。自己評価については、この6ヶ月間の自分の意識のいい形での変化に言及し、それが他の人にもどう影響して自分に返ってきたか、また、それを今後どのように進展させるか、自分自身はどうなるべく今後取り組んでいくかにも触れる。更には、この実践(自分自身の変化)に対して、ごく身近な家族からどんな評価を受けたのかにも触れる。

ただし、「ちかい」と「おきて」の前文・主文をそのまま解釈し行動するのはボーイスカウトまでとし、ベンチャー以上ではこれらはこれらどこにあるのかを理解して、その上で行動する段階に移ることをスカウトに理解させる。指導者はその主旨をよく理解して指導していただきたい。

10 技能章

「炊事章」「野営章」「救急章」の3つについては、2級からベンチャー・スカウトの間に取得する必要がある。しかしながら、ボーイとは違いベンチャー年代では、たとえ基準ライン(最低基準)の表現は同じであっても、ベンチャーとして「(自分で)できる」「後輩に教えられる」といったレベルで認定ラインを設定してもいいと思われ。

また、この3つの技能章を何故「単章」に設定したのか、また単スカウトにはどのレベルが求められているのか(日連曰く「キャンプの達人)」を考えて認定していただきたい。

11 実施したプロジェクト

ここで求めているプロジェクトは1つです。最近感じることは、進級のためにプロジェクトをする…である。ボーイスカウト運動で求めているプロジェクトは、スカウト指針が「やりたい!!」「挑戦してみたい!!」っていう心の叫びを行動にしたものであってもらいたい。すわち「好奇心」→「ニーズ」→「プロジェクト」であって、「好奇心」がないとどこで始まったプロジェクトは、なんか画一的(プロジェクト報告書を作ることが目的になってしまっている)でつまらないものになっている。感動や感激、悔しさなどが見えてこない。

プロジェクトは、好奇心→評価までの一連のものを別項目でまとめて(セットして)綴る。2つある時はそれぞれ別にセットを作って綴る。

12 隊長の評価

単章の審査は隊長の責任で行う。ということは隊長は自信を持って面接に送り出さなければならぬ。認定ラインの設定とスカウトの努力による達成、そして成長した姿から、「このように自信をもって評価する」旨を記載する。

13 面接の欄

- 認証面接会を実施した日時と場所、そして面接委員をそれぞれ記入する。
- 面接認証者は面接委員長です。日付けと署名捺印する。

14 単章進歩章の交付と記章の授与の欄

- 「菊章」と同様。
- 単章の最終的な認証は県連盟。ただし、地区を設けている場合は地区に委託されている。

○ : 隊長が記入      ○ : スカウト本人が記入      ○ : 保護者が記入

このチェックリストは、「準章」の面接・認証申請書に添付します。

## ベンチャースカウト進捗チェックリスト

※ 各欄に、認証の日付を記入してください。

### <ベンチャースカウト入隊条件>

ボーイスカウト経験のある者は「ちかい」を再確認する。  
ボーイスカウト経験のない者は「ちかい」をたてる。

### <ベンチャー章課題>

#### (1) 基本

ア 「ちかい」と「おきて」の意味を理解し、その実践に努力する。

イ 創始者ベーデン・パウエルの大要を知る。

(ターゲットバッジ「A8 B-P 細目1・3・4」の履修で修了認定)

#### AB B-P

1 ボーイスカウトの創始者ロバート・ベーデン・パウエル (B-P) の生涯について知り、隊集会、

班集会または家族に語る。

3 スカウト運動の世界と日本の歴史を知り、隊集会、班集会または家族に語る。

4 「スカウティング・フォア・ボーイズ」の興味のあるところの感想文を書く。

ウ ベンチャースカウトとして取り組みたい活動と将来の抱負を指導者と語る。

#### (2) スカウト技能

ア ターゲットバッジ「E1 キャンプ企画」の6細目をすべて履修する。

(マスターバッジの修得で修了認定)

#### E1 キャンプ企画

1 キャンプ地に選んではいけない場所・地域について説明する。

2 キャンプ中の危険防止と衛生を保つ方法を説明する。

3 2泊3日のキャンプに必要な個人携行品一覧表を作成し、正しくパッキングを行う。

4 班キャンプを実施するために必要な事項を調査し、計画書を作成する。

5 班キャンプ終了後にしななければならないことを説明する。

6 キャンプにおける荒天対策の方法を説明する。

イ 隊長及び保護者の同意の下にキャンプを計画して実際に行う。

(1級章課題「(1) キャンピング 細目エ」の履修で修了認定)

※1級章 (1) キャンピング

細目エ 隊長及び保護者の同意の下にキャンプを計画し実際にを行う。

#### (3) スカウト精神

ア 隊、団、その他の活動に対して積極的に奉仕する。

(ターゲットバッジ「A9 リーダーシップ 細目2・6」の履修で修了認定)

#### A9 リーダーシップ

2 学校の自治会や部活動等に積極的に参加し、できれば役員、各種委員等をつとめる。

6 隊活動に積極的に参画する班長、次長、上級班長、隊付等をつとめる。

(隊長が同等と認めない)

#### (4) 信仰

ア 信仰奨励章を取得していないスカウトは、信仰奨励章を取得するか、又はその取得に努力をする。

#### (1) 基本 細目イ

#### (2) スカウト技能 細目ア

#### (3) スカウト精神 細目ア

は、ベンチャースカウト以前にそれぞれ該当するターゲットバッジ・マスターバッジを修得していれば、それをそのまま採用して認定します (緑色の枠) の枠)。

修得していない場合は、それぞれのターゲットバッジの細目を履修します (赤色の枠)。

※当然のことですが、認定の日付は (緑色の枠) (赤色の枠) のどちらからかに入力できません。

この表の添付書類として、次ページの「進歩一覧表」にもボーイスカウト時代に修得認定されたターゲットバッジ・マスターバッジの履修認定日を記入して綴ります。ここに掲載してあるのは菊章のものです。準章でも基本的に同じです。

※用紙は日本連盟ホームページからダウンロードできます。

[http://www.scout.or.jp/for\\_members/downloadcenter/index.html](http://www.scout.or.jp/for_members/downloadcenter/index.html)

進捗状況一覧表

No.K-3

第 団 氏名 \_\_\_\_\_

※各欄に、認定の白点を記入してください。

区分	No.	項目	ターゲット(☆)	マスター(◎)	区分	No.	項目	ターゲット(☆)	マスター(◎)
A 群 スカウト精神	A1	メンバーシップ			D 群 スカウト技能	D4	森林		
	A2	家庭				D5	野生生物		
	A3	地域社会			D6	気象観測			
	A4	公民			D7	天体宇宙			
	A5	郷土文化			区分	No.	項目	ターゲット(☆)	マスター(◎)
B 群 健康と発達	B1	健康			E 群 スカウト技能	E1	キャンプ企画		
	B2	安全				E2	野外料理		
	B3	水泳				E3	キャンプクラフト		
	B4	運動能力				E4	燃料		
	B5	救護				E5	ロープ結び		
	B6	クラブ活動				E6	たき火		
	B7	外国語				E7	キャンプマネジメント		
C 群 ハイキング	C1	ハイキング企画			F 群 冒険	F1	食料		
	C2	読図				F2	キャンプファイア		
	C3	記録				F3	サバイバル		
	C4	写真				F4	フィッシング		
	C5	自転車				F5	ハイオニアリング		
	C6	オリエンテーリング				F6	ウオーターアドベンチャー		
	C7	観察				F7	スカウトソング		
D 群 追跡	D1	観察			G 群 社会生活	G1	自然観察		
	D2	計測				G2	テノコーチ		
	D3	通信				G3	近隣奉仕		
						G4	環境保護		
						G5	伝統工芸		
						G6	防災		
						G7	リサイクル		
						G8	ガイド		



● 2 級草進級課目で取得する…  
ターゲットバッジ

- A : スカウト精神 ×1
  - B : 健康と発達 ×1
  - C : ハイキング ×2
  - D : 追跡 ×1
  - E : キャンピング ×1
  - F : 冒険 ×1
  - G : 社会生活 ×1
- マスターバッジ ×1

ターゲットバッジ

- A8 B-P
- 細目 1
- 細目 3
- 細目 4
- A9 リーダーシップ
- 細目 2
- 細目 6

● 1 級草進級課目で取得する…  
ターゲットバッジ

- A : スカウト精神 ×1
  - B : 健康と発達 ×1
  - C : ハイキング ×1
  - D : 追跡 ×1
  - E : キャンピング ×2
  - F : 冒険 ×1
  - G : 社会生活 ×1
- マスターバッジ ×2

マスターバッジ

- E1 キャンプ企画

※これは、ベンチャースカウトになって修得しなければならぬというものではない。ボーイスカウトで修得している場合は、もちろんそのまま認定する。

● 菊級草進級課目で取得する…  
ターゲットバッジ

- A : スカウト精神 ×1
  - B : 健康と発達 ×1
  - C : ハイキング ×1
  - D : 追跡 ×1
  - E : キャンピング ×1
  - F : 冒険 ×1
  - G : 社会生活 ×1
- マスターバッジ ×3

これらを一覧表に落とし込んでいくと、左表のようになります。「級」とターゲットバッジ・マスターバッジの関係、そして計画的に履修に取り組みなければならない必要性が、よくわかると思います。





⑧ 「ちかいとのおきての実践」

「準スカウトとして最低6ヶ月最善を尽くした」は、単に実行した内容ではなく、それを実行するに当たって自分の心がどう変化していったのかについても言及する。「準スカウト」としても相当高度な意識を持つことを求められているが、富士では、自分のあるべき姿・生き方についてもある程度は見出していないなければならないだろう。

⑨ 実施したプロジェクト

ここに記入するのは、単章チャレンジ時のものを1つ、富士章チャレンジでの新たなプロジェクトを1つ記入する(単章申請時に記入した「新しいプロジェクトの計画」であれば尚良いが・・・)。求められているプロジェクトは最低1つ。申請書に添付するのは、富士チャレンジのものだけがかまわなない。ただ注意しなくてはならないのは、「グループのチーム」としての関わり。グループメンバーの時は違った立場でのプロジェクトへの関わりが求められている。報告書の随所にマネージメントについて触れてあることがポイントだ。

※富士章チャレンジでのプロジェクト記入欄は1つしかない。ここにはメインプロジェクトを記入する。複数のプロジェクトを実施した場合は、ここには記入せず、添付資料としてメインプロジェクトの次に一式を綴る。

⑩ 技能章

「野営管理章」については、ボーイの2級から準の間に取得していればよい。願わくば、技能章を取得しただけでなく、それを実際のキャンプで発揮してもらいたい。

また、この野営管理章を何故「富士章」に設定したのか、また富士スカウトにはどのレベルが求められているのか(日連曰く「スカウトの達人」・・・(´・ω・`)) を考えて認定していただきたい。

⑪ 隊長の評価

単章の審査は隊長の責任で行うものだ。ということは隊長は自信を持って面接に送り出さなければならぬ。認定ラインの設定とスカウトの努力による達成、そして成長した姿から、「このように自信をもって評価する」旨を記載する。

⑫ 4. 面接の欄

- 認証面接会を実施した日時と場所、そして面接委員をそれぞれ記入する。
- 面接認証者は面接委員長です。日付けと署名捺印する。

⑬ 5. 単章進歩章の交付と記章の授与の欄

- 「単章」と同様。
- 富士章の最終的な認証は日本連盟である。

○：隊長が記入      ○：スカウト本人が記入      ○：保護者が記入

5. 課目の修了

項目	課目	認定年月日
基本	⑦ 準スカウトとして「最低6ヶ月間「ちかいとのおきて」の実践」報告をつくす。	
	⑧ 現在の自分の考えと将来の進路について指導者と話し合う。	
スカウト技能	⑨ 「スカウト・ライティング・フォア・ボーイズ」のキャンプブリアリア物語①、②、及び②6を読み、内容について指導者と話しあう。	
	⑩ 地域社会や学校などでの奉仕活動を企画し、隊長の承認を得て実施して報告する。	
信仰	⑪ 宗教章を取得するか、又はその取崩しに努力をする。	
技能章	⑫ すでに取得した技能章と野営管理章を含め、合計5個以上を取得する。	
成長と貢献	⑬ 準スカウトになった後、個人又はグループのチームとして、ベンチャープロジェクトを計画し、隊長の承認を得て実施し、評価を含めた報告書を提出してプロジェクトバッジの認定を受ける。	
分野		指導を受けた人
実施したプロジェクト	プロジェクト名	プロジェクト概要
技能章	炊事章	取得 考査員
	野営章	取得 考査員
	救急章	取得 考査員
	野営管理章	取得 考査員
		取得 考査員

隊長の推薦・評価

⑭ 自書

平成 年 月 日 隊長 署名捺印  
 承認のスカウト、富士章課題達成の承認を受けたので、関係書類を添えて申請します。  
 平成 年 月 日 回審委員長 署名捺印

6. 面接

日時：平成 年 月 日 ( ) : ~ : 場所： 氏名 役職 氏名 役職

面接員			

上記のスカウトを面接し、富士の課目達成を認証しましたので報告します。  
 年 月 日 理事長： 署名捺印

7. 富士スカウト最善と証の交付と記章の授与

申請書受付・提出(地区)		申請書受付・提出(都道府県連盟)	
地区事務局	進歩委員長	地区委員長	進歩委員長
受付	提出	受付	提出
記章受領日	授与No.	伝達授与日	平成 年 月 日 場所：

⑧

⑨

⑩

⑫

⑬

◆富士スカウト面接申請書(プロジェクト報告)の書き方のポイント

①この用紙(申請書の3ページ目)の提出は、新制度でも変わっていないようです。

- 最上段の4つの欄のうち3つ「所属連盟」「スカウト名」「隊長名」までは、隊長が記入する。「授与No.」は日連が記入する。
- これは「隊長の評価」である。なので隊長自身が書くこと。
- この様式で提出する意図は、まず原隊(こう書く)と原隊と云えるのは「ボーイ隊」だけだということもある。つまり、取りあえず無視!)でどのようなプロジェクトが実施され、完遂したかを把握することによって、それを把握しようというもので、簡潔でいいからきちんと書くこと。
- 対象となるプロジェクトは、基本的に「富士章」で取り組んだもの。それを上から順に書いていく。3つのプロジェクトを報告することができるので、富士で1つか2つか取り組んでいない場合は、準章の時のものも報告する。
- 「企画」→「計画」→「実施」→「報告」の順で、どのようにステップアップしていったのか。それにはどのようにアドバイスをしたか、それに対してスカウト達は、どのように対応していったか、結果に結びつけたのか・・・等の評価を簡潔だがポイントを押さえて書く。

所属連盟:	スカウト名:	隊長名:	授与No.:
-------	--------	------	--------

**プロジェクトに対する隊長の評価**  
この用紙は、日本連盟に集約し、今後のための資料とします。

1. プロジェクト名: 分野:

(1) 企画に対する評価

(2) 計画に対する評価

(3) 実施に対する評価

(4) 報告に対する評価

1. プロジェクト名: 分野:

(1) 企画に対する評価

(2) 計画に対する評価

(3) 実施に対する評価

(4) 報告に対する評価

1. プロジェクト名: 分野:

(1) 企画に対する評価

(2) 計画に対する評価

(3) 実施に対する評価

(4) 報告に対する評価

プロジェクトが3つを超える場合は、この用紙をコピーしてお使いください。